

令和2年度 第2回 備前市公共交通会議 会議録要旨

開催日時：令和3年2月22日（月） 14時00分～15時00分

開催場所：備前市役所 3階 大会議室

出席委員：田原 隆雄【備前市長】

藤田 政宣【備前市市民生活部長】

久保 聡志【西日本旅客鉄道（株）】

小野 一嘉【県タクシー協会和気支部】

金本 伸一【備前市自治会連絡協議会】

中磯 潤一【備前市自治会連絡協議会】

松浦 三秀【備前市自治会連絡協議会】

三宅 陽【備前市老人クラブ連合会】

松本 和好【備前市老人クラブ連合会】

大東 正虎【岡山商科大学経営学部経営学科 教授】

石田 剛史【中国運輸局岡山運輸支局】

清水 淳夫【備前警察署】

松尾 恭子【岡山県県民生活交通課】

青砥 良定【瀬戸内市総合政策部企画振興課】

新田 憲一【和気町総務部危機管理室くらし安全係】

出席 15 名、委任状提出 6 名

事務局：市民生活部市民協働課

藤森（課長）、森本（係長）、千田

1. 開会

2. 会長あいさつ

会 長：皆様、お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。後程の議題にありますが、4月からバスターミナルを備前片上駅前の方へ移動することに伴うダイヤの改正となっております。今回は各地域へ踏み込んだ見直しはできませんでしたが、バスターミナルの発着と JR の乗り継ぎにロスがないようにするためのダイヤ改正です。色々ご指導いただければ、順次改善したいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

事務局：私は、事務局として本日の進行役を務めます市民協働課長の藤森でございます。よろしくお願いたします。

なお、本日の出席委員は14名で、表決委任状6通、要綱第5条の規定により過半数を超えておりますので、本会議が成立していることを報告いたします。

3. 協議事項

(1) 備前市営バスの一部ダイヤ改正について

－事務局からの説明（資料① P1～P15）－

令和3年4月ダイヤ改正の主な概要について、備前市東片上の備前片上駅舎内に市営バス管理事務所および備前片上駅隣の旧店舗跡地に市営バス駐車場を整備することから、4月1日より備前片上駅を発着としたダイヤに改正を行います。対象路線は日生線、東鶴山線、片上和気線と、備前片上駅に停車する三石線、寒河蕃山伊里線、吉永線です。あわせて JR と市営バスの接続を見直します。また、その他の路線は所要の改正を加えています。

続いて各路線別の改正内容です。三石線は三石から蕃山を経由するマルナカまでの新ルートを設置します。資料に新ルート案と運行時刻表案を載せています。これまで三石、伊里、蕃山、麻宇那地区にお住いの方は市営バスを利用するには一度片上まで出る必要がありましたが、この度の三石から蕃山を経由しマルナカまで行く新ルートの設置で利便性向上を図ることとしています。平日のみ1日3往復運行します。あわせて JR との接続を見直し、三石発 16:40 備前片上行き最終便の一部区間（蕃山～山田原口）は9ヶ月間の利用が1人しかいなかったため、その区間を削減することとしています。日生線は、備前郵便局隣の方鉄片上発着から備前片上駅まで延伸し、備前片上駅を発着としたダイヤに改正することとします。あわせて JR との接続を見直します。東鶴山線も、方鉄片上発着から備

前片上駅を発着としたダイヤに変更することとし、あわせて JR との接続を見直します。吉永線は平日、土曜日運行の回送を実車に変更し、運行ダイヤが平日、土曜日それぞれ 1 往復増便します。また、あわせて JR との接続を見直しています。片上和気線については、方鉄片上発着から備前片上駅を発着としたダイヤに変更いたします。寒河蕃山伊里線は曜日別で異なった行先（月・火は佐那高下、水・木・金は寒河シーサイドプールひなせ）で運行していますが、この度の改正で月～金のダイヤに統一し、行先も寒河シーサイドプールひなせに統一します。南北閑谷学校のぞみ線については、買い物に市営バスを利用したいという声があり、鶴海坂田地区に新たに「坂田」バス停（仮）を新設し、吉永駅・青石駅間を 1 日 2 往復運行します。最後に頭島線は、これまで数便が日生総合支所前に停車していませんでしたが要望があったため、この度の改正により、全便が日生総合支所前に停車します。

以上、簡単ではありますが、備前市営バスの一部ダイヤ改正についての説明をいたしました。なお、改正日は令和 3 年 4 月 1 日を予定しております。

会 長：只今説明のありました一部ダイヤ改正について、ご意見やご質問はありませんか。

委 員：備前片上駅の JR との時刻設定は、4 月以降の JR の新ダイヤと調整した時刻ですか。

事務局：掲載している JR のダイヤは現在のものです。新ダイヤとの接続についても確認しており、一部の便では 1 分程度の誤差はあるものの、全体的に見て問題ないものと認識しています。

会 長：他に意見が無いようですが、一部ダイヤ改正についてご承認いただけますか。

<承認>

（２）市営バスの旅客の範囲の変更登録について

－事務局からの説明（資料② P16～19）－

令和 2 年 11 月 27 日施行の公共交通の活性化及び再生に関する法律等、道路運送法の改正により、自家用有償旅客運送における旅客の範囲が、地域住民のみならず観光客を含む来訪者も対象として明確化されました。これを受けて、本市が主体となって自家用有償旅客運送により運行している市営バスについて、旅客の範囲を見直し、岡山県知事に変更登録を行うものです。

旅客の範囲の変更については、変更前は「備前市及び瀬戸内市並びに和気町に在住する

住民及びその親族、その他備前市に日常の用務を有する者」となっておりますが、「備前市及び瀬戸内市並びに和気町に在住する住民又はその他の当該地域を来訪する者」に変更いたします。変更予定期日としては令和3年3月ごろに準備が整い次第、変更登録を行う予定です。

登録事項の変更を行う場合は、道路運送法第79条の7及び道路運送法施行規則第51条の11の規定により、岡山県知事に変更登録の申請を行うことになっており、瀬戸内市及び和気町からも同様の依頼の協議内容が届いています。瀬戸内市でも備前市同様、市町村による自家用有償旅客運送の運行を行っており、そのうち美和線は備前市の新庄地区に乗り入れています。そのため関係する地域公共交通会議の合意が必要なことから、今回の備前市公共交通会議で皆様にご承認いただきたいということです。次に、和気町営バスにつきましても備前市同様、町村により自家用有償旅客運送の運行を行っております。そのうちの片上和気線は備前市と共同運行をしていますので、関係する地域公共交通会議の合意が必要なことから、今回備前市公共交通会議でご審議いただきたいと事項となります。説明は以上です。

会 長：ご意見・ご質問があればお願いします。

委 員：タクシー事業者です。現在弊社が委託を受けている路線において、備前市総合運動公園等での行事や催事等により突発的に利用者が増えることがあります。定員人数の少ない車両（9人乗り）で運行している吉永線でもこのような事態が発生しており、吉永線は後続する別路線があるため、お待ちいただけるようであればその時刻をご案内しています。先日は沿線の商店がメディアで紹介されたため団体の利用があり、積み残しが発生したためバスに乗れなかった方はタクシーで対応しました。ちょうどタクシーが空いている時間であればお客様に迷惑をかけることはありませんが、備前市へ来訪する観光客も市営バスの旅客の範囲に含める中で、今後このような事態が増えるようであれば、どのように対応したらよいのかお伺いしたいです。

事務局：積み残しの対応について、委託事業者が自社のタクシーを使用された場合、市から差額を支給いたしますので引き続きご対応をお願いします。

委 員：弊社に限らず午前中の時間帯は、日常的にタクシーをご利用になるお客様のために余裕なく稼働しているため、積み残しの対応が難しい状況です。特にコロナ禍の影響もあり、十分に車両台数を稼働できない状況です。先ほどの事態は午後だったため対応ができましたが、午前中であれば対応ができません。突発的な利用増に対して準備はできないため、今後どう対応すればよいかという質問でした。

事務局：タクシー台数の限りがあることは承知しています。この件に関しては事務局で持ち帰り検討いたします。

会長：他にありませんか。

ないようですので、備前市営バスの旅客の範囲の変更登録についてご承認いただけますでしょうか。

<承認>

4. その他

事務局：先程承認いただきました令和3年4月1日からのダイヤ改正につきまして、補足いたします。4月1日が平日ということもあり、市民の皆さんに混乱が起きないように、広報びぜん4月号に折り込みチラシを入れる他、ホームページへの掲載や、バス停での新ダイヤの掲示、バス車内での新ダイヤを設置等による周知を予定しています。

会長：皆様も報道等でご存知かと思いますが、これまで長船まで運行していたJR赤穂線が西大寺まで短縮されると聞いています。長船駅については、市民の皆さんが利用しており、市営バスも乗り入れているといったことから、備前市としても他の市町と連携しJRに長船駅までの運行継続を要望していきます。

事務局：最後に、備前市公共交通会議副会長の大東正虎先生よりご講評をお願いいたします。

副会長：本日はお忙しい中ありがとうございました。皆様からは気付いた点をご指摘いただきました。特に今回のダイヤでバスと電車の乗り継ぎをしっかりと調整していますので、今後は利用状況等のデータを検証し、できるだけ積み残しが発生しないよう、または発生した場合の対応をその具体的なデータをもって話し合うことが健全かと思えます。今後も色々な議論ができる場としてこの会議があれば良いと思うので、引き続きよろしく願いいたします。

5. 閉会

以上